

# ひろば大代

NO.285

大代公民館

H15,4,23

## おめでとう 父より

柿田 谷口俊二



早いもので、兄ちゃん姉ちゃんの後を  
チヨロチヨロついて歩いていたあの耕平  
が、もう小学校一年生になる。

三番目ということもあり、上の子ほど  
に思い入れは正直言ってそう強くは無か  
った、と本人には申し訳ないが今になる  
と思う。

家にいてあたりまえ、どこかに行くに  
も付いてきてあたりまえ、いつのまにか  
当然の家族の一員に成長した我が子に、  
時々はつとすると同時に大きくなったも  
んだと、幼かった時をつい思い出す。

たまに風邪をひくか、歯医者に行くく  
らいで、たいして親を悩ませることも無  
く元気に育ち、ただ少々誰に似たのか頑  
固な性格に振り回されたじいちゃんとは  
あちやんは、少々大変だったかと思われ

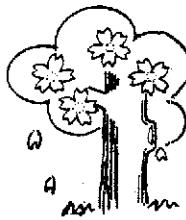
## 入学 おめでとう

るが、まずは入学おめでとう。  
これから先生にピンピン鍛えられ、た  
まには涙することもあるだろうが、人の  
意見をよく聞いて、人の気持ちを思いや  
る子供に育ってほしいものです。

共働きの両親を持ち、なか  
なか一緒にいてあげられなく、  
また友達も少ないこんな田  
舎で育てることに、少し申  
し訳なく思うことが時々あ  
るが、耕平の持ち前の明る  
さとひょうきんさに救われ  
ることがある。多くは望み  
ません。とりえは健康で結  
構です。大きく大きく育つ  
て、一緒に鯛やヒラマサを  
釣りにいける日を、お父さ  
んはほんとうに心待ちにし  
ていますよ。おめでとう。  
父より。

### 春を迎えて

平 井谷惠美



この間、産声をあげて生ま  
れてきたと思っていたのに、

この四月から小学校へ入学。  
月日の経つのは早いなとつくづく思  
います。

大代に帰ってきて早二年半が経ちまし  
た。その間大代幼稚園へ通い、この前卒  
園式を無事迎える事ができました。

幼稚園ではいろんな事を学んできたと思  
います。小学校ではもつともつといろ  
んな事を学ぶことでしょう。

今は、まだまだわがままで泣き虫、甘  
えん坊と三拍子そろっていますので、小  
学校へ入学してから大丈夫だろうか、  
不安ばかりが頭をよぎります。

これから六年間の小学生生活の始まり  
です。いろんな事があると思いますが、  
頑張つて欲しいと思います。

そして卒業する時に、一段と成長した  
姿を見せて欲しいと思います。

### ヒカヒカの夢

山田 泉 三枝



暖かい春風と、ほんのり甘い桜の花の  
香る心地良い時季を迎えました。

さて、私の長男は、今年元気に大代小  
学校の一年生を迎えることができました。  
三月二十一日で六歳になり、これまで  
病気もせず、元気に育ってくれて本当に  
有難い事と思っています。家族の見守り  
はもちろんの事、と同時に大代の皆さん  
の温かい心がいつもあり、見かけると声

かけして下さったりと、大代の自然の中で大きく成長し、とてもありがたい事と思っております。

子供には無限の力がある。なんでもやってみようとする不思議なパワーがある。と色々な方から教えを受け、私も今年で母親十二年目。子供達の考え方はそれぞれ違い、面白い個性の中でいつも母親は新米の一年生。私自身反省する事が多かったのでは、と思います。

小さな体にぶかぶかの制服、ピカピカのランドセルの中には、いつもいっぱいピカピカの夢を詰め込んで、やる気満々の一年生と思います。このあたりで私も初心に戻り、夢の手助けをして行ければと思っております。

そして、ぶかぶかの制服がキツチリと着れる頃には、親子共に成長出来ればと思います。どうぞよろしく願います。

### 中学生になりました

上飯谷 武田愛美

四月から中学生になります。私は、勉強はきちんとできるか、部活は何をしようか、など心配しながら中学校に入学することにになりました。

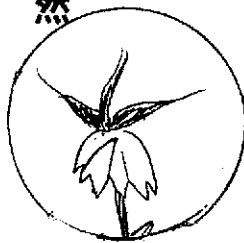
ドキドキ、わくわくしながら、中学校では心配していた勉強や部活は、自信を

持たないとなにもかも成功しないし、上手にはできないと考えました。でも、このドキドキ、わくわくの気持ちも自分の一部になるんだなと思いました。私は、中学校で、苦手な科目の勉強や、委員会や初めての部活をがんばりたいと思います。もし失敗しそうなことでも、自信をもって、挑戦していきたいと思えます。

### 大江高山火山群の自然

島根県立三瓶自然館

学芸二課 大畑純二



イズモコバイモ

この火山群にもかつては素晴らしい照葉樹林が見られました。その照葉樹林というのは、要害山(山吹城山)の南北斜面にあったスタジイの純林と、馬路―上野高山の南側にある嶺に見られたタブの巨木から成る森林です。それらは、1970年頃に完全に伐採されてしまいました。今、わずかに名残をとどめている森林があるとすれば、それは矢

### 私達の大江高山講座

#### 第二回

滝城山の北側斜面に見られる照葉樹林くらいでしょうか。

現在、大江高山のほぼ全域が国有林となつていますが、ほとんどは二次林とスギの植林地で、目を見張るような森林はありません。

大江高山の自然で目を引くのは、ミスソウとギフチョウが多産することでしょう。ギフチョウといえば、1965年頃、矢滝トンネルの東側と矢滝城山山頂で張ったオレンジ色のテントに群がり乱舞するのに出会って感激したことを覚えていきます。

春になると、大江高山ではたくさんギフチョウを見ることが出来ますが、いつまでもそうであることを願っています。また、大江高山火山群に生育している全ての森林が、これからずっと伐採されないでほしいものです。そうすれば、かつて見られたような見事な森林がやがて復活するにちがいません。

### 人生夢ありて青春

関西高山会会長 田中公道

人生の道は無数である。人それぞれによつて、その生き方は違う。人生をどの

ような姿に築いていくか。それはその人の生き方によって決められる。それが決められていく一番の土台となるものは、若い日の生き方だ。だから、その人の一生涯にとって、若い日というものは掛け替えの無い大切な意味をもっている。

私が強い影響を受けたある本の一節である。十歳から始めたラジオ造りによって、外国航路の無線技師となって世界を駆け巡る夢は挫折した。だが私は、このラジオ造りによって「熱中する喜び」を体験し、それが私の生き方の基幹となった。

運摩高校での生活は、次なる熱中出来るものを探し求める三年間だった。学力的に平凡だった私は、学業以外でゼロからスタート出来る何かを探し求めた。だが、三年間で自分の夢を見いだす事は出来なかつた。就職先も決まり、夜間大学進学によって自分のあるべき姿を見つけようとした矢先、肺浸潤を宣告された。

夢と希望に満ちた日の失意だった。しかし、不思議なもので、人生の素晴らしさはこの不幸な出来事から始まった。ラジオから流れたイタリア人テノール歌手の輝かしい高音、それは雷に打たれた程の大きなショックと感動だった。人間の声の魅力に取り憑かれた私は「これだ！これしか無い！これなら出来る！」と、音楽的素養が皆無だったにも係わらずオ

ペラ歌手を目指していた。

三浪してやっとの思いで入学した島根大学、胸を張っての入学だったが、歌もピアノも拙く、劣等感に苛む毎日だった。だが、この劣等感こそが他と競う原動力として、私の中に力強く芽生え生涯にわたっての人生観となった。

高度成長期の日本は、都市に人口が集中し、教員不足だった尼崎市の中学校教員となった。可能性を一杯に秘めた子供たちとの生活は楽しかったが、いつも自分が一人になったとき、若き日に感激した「あの声」に胸が疼き、疲れた体に鞭打った。海外旅行が自由化していない一九六八年、東欧での音楽祭に

## 人生はパズルのごとく、生きることはこの上なく楽しい

日本代表として始めて国際舞台に立った。船、列車、飛行機を乗り継ぎ、シベリア上空を越えての異文化体験は、後の人生に大きな影響を与えた。一九七〇年中学教師を退職し、人生の総てを賭けてイタリアに留学した。異国では何もかもが斬新で輝く日々だったが、日本と全く異なつた音楽文化に戸惑いと困難を極めた。しかし、イタリアの歌心は血や肉となつて大いなる成長を遂げた。

大阪芸術大学に勤務した後も、日本から世界に夢を発信させ続けた。中国全省全自治区の主要大学の訪問も完了し、六歳の今年も、地球三周を越す距離の世界リサイタルツアーの旅に出る。旅にはいつも掛け替えの無い人々との出会いと感動が待っている。生涯現役、それは向上心と老化や闘争心との戦いである。

人生はパズルのごとく、生きることはこの上なく楽しい。

この欄は皆さんの自由な夢や町の活性化のための「意見」などを載せる予定です。皆さんの原稿をお待ちしています。

### 俳句

あすなる句会

大田市 原田萬里

春眠をむさぼる妻の顔やさし

喜寿越せる夫婦の歩み夕桜

下市 渡 あやこ

男には男の役目花宴

春眠や二度寝の夢を忘れける

柿田 横手イチエ

たわむれの風の来ており糸桜

春眠のうつつ鳥語に目覚めけり

八反田 森 信子

廃屋に大樹ほころぶ糸桜

春眠や風雨の話うわのそら

椿 花田時子

忘れえぬ小学校の八重桜

山奥の古刹に高き糸桜

下市 今田文子

無住寺の花の盛りを誰か見ぬ

鯛の汁組人集ひ花見かな

川上 岩田律枝

孫を背に窓越し遠く山桜

春眠や雨音遠く心地よし

椿 柿丸寿枝

花吹雪甘露の法雨と僧説けり

鳴り終る受話機手にあり春眠し

II 人事異動 II

四月の人事・役員交替 (敬称略)

▲ 自治会連合会 (二自治会)

植松自治会

窪田 忠

川上自治会

渡井廣志

▲ 大代婦人会役員

顧問 下市 田辺幸子

会長 下市 今田文子

副会長 柿田 横手イチエ

副会長 川上 岩田律枝

▲ 大代地区社会福祉協議会

会長 八反田 高村 貢

副会長 柿田 横手新治郎

副会長 下谷 丹後輝明

▲ 大代消防後援会

会長 山田 原田一徳

副会長 椿 花田辰行

◎ 転出

▲ 大代小学校から

校長 多々納今子 日御碕小学校へ

教諭 多久和祐子 意東小学校へ

▲ 第三中学校から

教頭 大森康志 川本中学校へ

◎ 転入

▲ 大代小学校へ

校長 川神厚子 三隅中学校より

教諭 泉 玲子 朝波小学校より

▲ 第三中学校へ

教頭 三瓶 暁 瑞穂中学校より

飛んでいるギフチヨウを

見る春の高山登山報告!

去る4月12日、雨にもかかわらず総勢百余名の皆さんが集まり、登山を決行しました。

三人の講師の方の説明を聞きながら、わくわくしながら、登りました。

登山途中の道端には、イズモコバイモやエンレイソウ、ミスミソウ、カタバミ、

スマレなどがひっそりと美しく咲いていて、雨に濡れて疲れた心に、やすらぎを

与えてくれました。写真でしか見たことのない植物があ

り、可憐な白い花をたくさん見ることができました。これも長年、町民の皆様による奉仕の下草刈りが実を結び、そこに生息することができている現実、本当に保護活動が必要だと、思いを新たにいたしました。

雨の中、春の女神「ギフチヨウ」に出会うことはできませんでしたが、来年の出会いを楽しみに、また一緒に登山をしましょう。ありがとうございました。

※ 次回は登山のご意見や、感想などの特集をいたしますのでお楽しみに!



関西高山会総会出席者募集!

六月八日(日)

申し込みは公民館までお早めに

\*\*\*\*\*

5月行事予定

\*

\*\*\*\*\*

▼ 1日(木) 大代地区社協会議

▼ 11日(日) 20日(火)

春の交通安全運動街頭指導

▼ 18日(日) 福祉弁当

▼ 20日(火) さくらんぼ教室

▼ 23日(金) 連合自治会